

世界自殺予防デー(9月10日)にあわせて
全国の産業カウンセラーがあらゆる心の悩みに対応
フリーダイヤル「働く人の電話相談室」開設

社団法人日本産業カウンセラー協会

社団法人日本産業カウンセラー協会は、日本労働組合総連合会（以下：連合）と合同で、9月10日の世界自殺予防デーにあわせて、「働く人の電話相談室」を9月10日から12日まで、全国で実施します。通話料・相談料とも無料で、朝10時から夜10時まで受け付けます。

■名称：「働く人の電話相談室」

■開設期間：2008年9月10日（水）～12日（金）の3日間

■受付時間：10:00～22:00

■受付電話番号：0120-583358

*（社）日本産業カウンセラー協会所属の産業カウンセラーが対応します。
全国13支部で受付を行い、統一番号にかけると、お近くの支部の回線にフリーダイヤルでつながります。

年間の自殺者数は、10年連続で3万人を突破しました。特定できる原因としては「病気の悩み（うつ病）」が全体で最も多く、勤務問題の中では「仕事疲れ」や「職場の人間関係」が目立ちました。

「働く人の電話相談室」は、働く上での悩みや辛さに、産業カウンセラーが対応し、内容によっては、各専門機関を紹介するという取り組みです。昨年9月に、（社）日本産業カウンセラー協会と連合が合同で実施したところ、土下座の強要や夢にまで出てくる激しい叱責といったパワハラをはじめ、極度の疲労や長期の失業、社員格差といった深刻な相談が多数寄せられました。

当協会は、中堅社員を中心に一層過酷になっている長時間労働をはじめ、勤労者を取り巻く環境が、自殺者数の多さと深く関係していると考えます。今年は、より相談しやすくするため、通話料無料のフリーダイヤルとし、全国からの相談に対応します。

■主催 社団法人日本産業カウンセラー協会
■協力 日本労働組合連合会
■後援 内閣府／厚労省／労働者健康福祉機構／中央労働災害防止協会／
社団法人全国労働基準関係団体連合会／産業カウンセリング学会／
日本産業精神保健学会

参考資料

- ・(社) 日本産業カウンセラー協会

産業カウンセラーは、主に職場など勤労者のいる場で、メンタルヘルス・キャリア開発などの分野で活動するカウンセラーで、2008年7月現在、約34,000人の資格保持者がいます。(社) 日本産業カウンセラー協会は1960年に設立、産業カウンセラーと賛助会員企業によって構成されており、全国13支部[北海道(札幌市)、東北(仙台市)、上信越(高崎市)、北関東(さいたま市)、東関東(柏市)、神奈川(横浜市)、東京(渋谷区)、中部(名古屋市)、関西(大阪市) 中国(岡山市) 四国(松山市)、九州(福岡市) 沖縄(浦添市)]・15事務所を通じて活動しています。

- ・日本労働組合連合会 「連合」

1989年に結成された日本の労働組合のナショナル・センター(中央労働団体)です。日本の労働組合は、企業別組合、産業別組織、ナショナル・センターという3層構造が中心になっており、その加盟組合員は約680万人。労働条件の改善、企業行動のチェック、組合員へのサービス活動、産業全体に共通する労働条件や産業政策などの課題について情報交換と解決、すべての働く人たちのために、雇用と暮らしを守る取り組みを推進、地域の働く人たちのよりどころとして、地方政策の実現(推進)や労働相談活動、組合結成の援助など幅広い課題に取り組んでいます。

■ 本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

社団法人日本産業カウンセラー協会事業部 阿部 TEL:03-3438-1298

(株)P&I : 大原/富樫 TEL:03-5689-0445 FAX:03-5689-0455

E-mail: press@counselor.or.jp